

「訪問看護医療情報連携加算」のお知らせ

さて、このたび当ステーションでは、令和8年9月より「訪問看護医療情報連携加算」を算定させていただきます。

ご利用様が円滑な療養生活をより安心・安全に自分らしい生活を続けられるよう、さらなるケアの質向上と、関係機関とのより迅速な連携を目指し、医療・介護専用のコミュニケーションツール「メディカルケアステーション」(MCS)を導入することとなりました。このようなICT(情報通信技術)を活用した計画的な情報共有と連携体制の構築につき「訪問看護医療情報連携加算」の算定をいたします。

「メディカルケアステーション」(MCS)とは

メディカルケアステーション(MCS)とは、株式会社コラボスクエアが提供する医療介護専用のコミュニケーションシステムです。主治医、ケアマネージャー、訪問看護師、薬剤師、ヘルパーなど、その他の関係者と連携を図る目的で、リアルタイムに情報を共有・提供できる医療介護専用開発されたシステムです。

個人情報の保護とセキュリティについて

MCSは、厚生労働省が定めた「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠したシステムです。一般のSNSとは異なり、高い暗号化セキュリティで守られています。招待された関係医療・介護従事者以外は、一切の情報を閲覧することはできません。また、MCSによる情報共有を開始する際には、事前に利用者様・ご家族様へ同意のもと実施いたします。

主な連携機関

- ・常葉ホームクリニック
- ・きたうらわクリニック
- ・こまくさ診療所
- ・むすびクリニック
- ・彩の風訪問看護ステーション

今後とも、ご利用様・ご家族様に寄り添った質の高い訪問看護を提供するため、適切な運用管理と円滑な多職種連携へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

埼玉メディカルセンター附属訪問看護ステーション
管理者 小林 奈津子